

▶ バックアップとリカバリ： 複雑なデジタル世界でパワフルで シンプルを実現する方法

6つの戦略的要素を最新のデータ保護に統合する

変化が急激でコントロール不能な世界では、データの保護と管理を確実にコントロールできるという安心感により、ビジネスのニーズをサポートできるという確信が得られます。デジタル変革、ハイブリッドクラウド、データ分析など、データ管理の複雑さが増す取り組みの中で、データ保護インフラストラクチャを精査し、バックアップとリカバリの手法で後れをとっていないかどうか確認することが重要です。

最新のデータ保護ソリューションでは、あらゆる場所のデータをバックアップし、必要な場所へどこにでもリカバリする機能によって、パワフルでシンプルを実現する必要があります。現在の複雑なデジタル世界では、ビジネスは急速に進化し、とどまることがありません。あなたが直面する変化する要求に応えることができるバックアップとリカバ리를最新化する6つの戦略的要素について確認してみてください。



子供のころにお気に入りだったおもちゃと、それによって得られた安心感を覚えていますか。そういったおもちゃは、パワフルに心の平和をもたらしてくれました。人々は、自身の会社についてそのような安心感を得たいと思っています。その安心感とは、データが 24 時間 365 日安全でセキュアであり、最善のバックアップとリカバリ手法が導入されていると確信できることです。それによって初めて、夜に安心して眠ることができます。

しかし、今日の脅威は、効果的でないソリューションによって発生したデータ保護戦略におけるギャップが悪夢につながることもあります。大概のお客様は、デジタル変革、ハイブリッドクラウド、データ分析などの新しいパラダイムによって増加する複雑性に対応するために、バックアップとリカバリシステムを改善またはリフレッシュし続ける必要があります。

そして、とりわけデータのセキュリティという点で、それはあなただけの問題ではありません。451 Research and Thales によって行われた 1,200 人の IT 管理職に対する世界的な調査によれば、調査対象のうち 44% が、データの脅威に対して非常に、またはきわめて脆弱であると感じています¹。現在のようにデータの複雑性が増している世界で (特に、ワークロードがオンプレミス、クラウド、SaaS インフラストラクチャにますます分散されていく中で)、パワフルでシンプルなバックアップとリカバリを実現するにはどうすればよいのでしょうか。高いコストをかけたり、問題発生時に大量のリソースを投入したりせずに、あらゆる場所 (オンプレミスとクラウド) にあるデータをバックアップし、必要な場所にリカバリすることは可能でしょうか。ハイブリッド環境を保護する最新の手法により、その答えが得られます。

「3,000 人の従業員の調査によれば、職場の非効率な技術により生産性が大幅に低下しており、それによってエンドユーザーの 20% が、作業を完了するために独自の IT ソリューションを導入しています (それに伴ってセキュリティの脅威も発生します)。」

SAMANAGE,
『The State of Productivity in the Workforce (労働力の生産性の現状)』2017 年 2 月

▶ 「おそらく」から「確信」へ

おそらく、あなたはいくつかの漏洩から回復できるでしょう。おそらく、あなたはデータをその新しいクラウドプラットフォームに移行できるでしょう。おそらく、あなたのディザスタリカバリ計画は、ほとんどの重要なデータを保護できているでしょう。しかし「おそらく」では、安心して眠るための確信は得られません。

「おそらく」から「確信」に移行するには、企業全体で強力でありながらもシンプルなバックアップおよびリカバリが必要です。さらに、既に過度の負担がかかっているスタッフにさらに負担を強いることなく、すべての環境のすべてのワークロードを簡単にサポートする必要があります。最新のソリューションが導入されれば、以下の確信を得ることができます。

- SLA を満たす時間枠で、オンプレミスとクラウドにあるデータがバックアップされる
- 致命的なイベントが発生しても、取り決めされたサービスレベルに従ってミッションクリティカルなデータを効率的にリカバリできる
- ディザスタリカバリ中を含めて、自動化をフルに活用してプロセスを効率化できる
- ポリシーとアクセス制御を使用して、サイバー攻撃からデータをリカバリできる

次に述べる 6 つの戦略的要素について確認し、ビジネスで要求されるパワフルなシンプルさで、あなたの企業のバックアップとリカバリが現在の基準を満たした運用がされているかどうかを確かめてみてください。

- 1 **スケールアップではなくスケールアウト**。従来のバックアップおよびリカバリ手法では、容量の増加に対応するため、インフラストラクチャを徐々に追加する必要があります。この「スケールアップ」型のプロセスでは複雑さが増し、整合性のない複数のポイント製品が導入され、コストが高くなるとともに、データアクセスの信頼性が低下します。「スケールアップ」を継続すると、時間の経過とともに過度のインフラストラクチャコストが発生するだけでなく、サービスが制限され、可用性が妨げられます。

今日の動的なデータ環境では、従来のスケールアップ手法は段階的に廃止し、最新のスケールアウト手法に置き換える必要があります。これにより、フォークリフトアップグレードとデータのサイロの増大を止め、俊敏性を上げ、コストを低減します。さらに、コモディティハードウェアと、ソフトウェア、ネットワークインフラストラクチャを単一のパッケージにまとめることで、スケールアウト技術はクラウドのような柔軟性とサービスを提供します。バックアップとリカバリワークロードをスケールアウト型にすることで、業務を単一のソフトウェア定義のスタックに一元化し、専用のメディアサーバー、専用のコントローラーベースのストレージデバイスやクラウドゲートウェイの必要性をなくし、インフラストラクチャコストと管理時間を減らすことができます。

- 2 **ネイティブのハイパーバイザーとクラウドのサポート**。現在増えつつあるハイブリッド環境でデータをバックアップし、リカバリするのは手間のかかる作業です。従来のバックアップツールとプロセスがハイブリッドインフラストラクチャに適していないことはあなたも既にお気付きでしょう。将来にわたって保護することができるという確信を持って、物理、仮想、ハイパーコンバージド、クラウドといったすべての環境をネイティブに保護できる最新のバックアップとリカバリソリューションに注目することが不可欠です。

ハイブリッドの世界では、重要なデータは従来のオンプレミスの場所と複数のクラウドプラットフォームの両方に存在します。複数の製品と、エラーが発生しやすい手動プロセスを使用している場合、データの管理、統合、保護は非常に困難です。必要なのは、現在使用していて、そして今後採用する可能性のあるハイパーバイザーとクラウドストレージプラットフォームをネイティブにサポートできるソリューションです。業務を効率化するため、バックアップとリカバリソリューションは、ゲートウェイやその他のサードパーティ製品を必要とすることなく、単一の統合プラットフォームを使用してハイブリッドITの要件をサポートできる必要があります。

- 3 **ポリシーの自動化**。複数のポイント製品と手動プロセスを管理する負担は、グローバルの統一ポリシーを実装する必要性により、さらに大きくなります。しかし、コンプライアンスと規制の要件の増大により、ポリシーコントロールは必須になっています。さらに問題を増すのは、複数の異なる場所でのデータ管理の必要性です。オンサイトのデータセンターから複数のクラウドまで多様なプラットフォームで保持されるデータには、複数の漏洩ポイントがあります。したがって、すべてのデータがどこにあるかを認識し、ビジネスに対する価値を理解し、ストレージ、バックアップ、リカバリについて、それぞれに応じた一貫性のあるポリシーを適用することが大切です。

ハイブリッドインフラストラクチャ間で多くのデータが出入りしている状態で、そのすべてを追跡し、コンバージョン、統合、移行を管理して、そのすべてにポリシーを適用することは難しい課題です。そこで、ポリシーの自動化が役立ちます。

物理マシン、仮想マシン、クラウド保護をシンプルにする最新のバックアップおよびリカバリソリューションにおけるポリシーベースのルールは、1回定義すれば、一貫性を持って適用することができます。新しいワークロードが自動的に検出されれば、手作業による介入なく正しい保護ポリシーをシームレスに適用することができ、新しいワークロードは初日から保護されます。その結果、ポイントソリューションが引き起こす非効率性、冗長性、複雑性の増大を回避できます。また、ビジネス価値に応じて予算を管理し、データに正しいポリシーを設定し、1つの非常に効率的なソリューションでコンプライアンスとガバナンス基準を確実に満たすことができます。

- 4 **高速リカバリ。**すべての環境で動作するバックアップソリューションを持つことは重要ですが、データを必要な場所にすばやくリストアできるリカバリソリューションを持つことは、さらに重要です。ハードウェアによる RAID ソリューションで得られるのは、低速な時代遅れの再構築プロセスです。これはダウンタイムやコストに大きく影響する可能性があります。スマートなソフトウェア定義のスケールアウト型ソリューションは、あらゆるターゲットに対して迅速なリカバリを提供できるので、ビジネスに迅速に復帰できます。これには、ディスク、オンプレミス、クラウド、テープ、オフプレミス コピーなどあらゆるコピーからのリカバリが含まれます。

さらに、高度なスナップショットとレプリケーション技術を活用することで、リカバリへの備えを強化することができます。デプロイ済みのすべてのストレージプラットフォームをサポートするため、できるだけ多くのアレイのスナップショットをサポートした製品を検討する必要があります。仮想化は IT の主要な要素であるため、数千単位の仮想マシンの迅速かつ効率的な保護を容易にする革新的なスナップショット技術も探してください。これにより、リカバリ処理の完了を待つことなく、データにすぐにアクセスし、高速にリカバリすることができます。

最新のリカバリで必要となるもう 1 つの要素は、クラウドまで利用できる効率的なレプリケーションとソース側での重複排除です。ソース側とターゲット側での重複排除を使用して冗長データのバックアップを排除することにより、プライマリとセカンダリストレージ インフラストラクチャのコストを最適化することができます。最新のリカバリでは、重複排除を使用するだけでなく、データポリシーと SLA に基づいてストレージの階層間（テープとクラウドを含む）でデータを簡単に移動することで、コストを下げ、ストレージ容量を節約できます。

- 5 **シングル インデックス。**サイロ化されたデータは、データの容易な検索とリカバリが必要となるときに大きな障害となります。すべてのデータセットに対しひとつのインデックスという環境になっていない場合は、移行を考える良い機会です。多くの場所、オンプレミスとオフプレミス、いくつかのストレージ階層にわたってデータが保存されている場合、共通の単一の動的インデックスは必須のソリューションとなります。これにより、レポート、検索、e ディスカバリにおいて、データに迅速かつ効率的にアクセスしてリストアすることを可能にします。ガバナンスとコンプライアンス要件をより簡単に満たせるだけでなく、重要なデータを完全にリカバリすることができます。たとえば、法律上の要請事項の場合、データの場所や性質、所有者、だれにアクセス権があるかなどの文脈上の詳細を迅速に知る必要があります。データセットを絞り込んで定義し、正確で完全な情報を提供することにより、弁護士を雇ってこれらの評価を行う必要がなくなり、膨大な費用を節約できます。

シンプルでコスト効果の高い最新のバックアップとリカバリ: そのすべてを得る方法

強力でシンプルなデータ保護のために、競合する需要のバランスを取る方法について紹介しています。

今すぐ読む



<http://bit.ly/2HYc8gq>

6 ユーザーのセルフサービス。最新のレポートによれば、2022 年までに、情報セキュリティ部門で 180 万人のワーカーが不足する見込みで²、IT スキルは世界中で不足しています。スキルの需要が高い中で、最も避けたいことは、過度に複雑な技術や、IT スタッフの貴重な時間を浪費する技術を追加することです。代わりに、ユーザーが IT スタッフを煩わせることなく、必要なときにデータを見つけ、アクセスし、使用することができるソリューションを検討してください。

最新のデータ保護システムは、場所、アプリケーション、またはストレージタイプにかかわらず、環境全体でデータへの簡単なアクセスと管理が可能なダッシュボード型のインターフェイスにより、セルフサービス データ アクセスに優れたユーザー エクスペリエンスを実現する必要があります。このようなセルフサービスにより、クラウド内でリカバリする機能を含め、ファイルレベルまたはアイテム単位のリカバリのどちらでも、必要なもののみをリストアすることで、IT の時間とコストの両方を節約します。

▶ 最新はパワフルでシンプル

最近の調査では、管理職の 58% が、アプリケーションのパフォーマンスが低いと少なくとも 1 週間は仕事に影響し、収益や顧客の損失からブランド価値の低下まで、さまざまな問題が発生すると述べています³。このことは、最新の技術は費用を節約する、と考えることもできます。今、バックアップとリカバリ プラットフォームを最新レベルに移行することに時間を使えば、ハイブリッド環境、データ分析の需要の増加、仮想マシンの増加など、デジタル変革のすべてのトレンドに対応して生き残ることができるでしょう。

おわかりのように、最新のバックアップとリカバリということになると、シンプルであることとパワフルであることは相矛盾することではありません。最新のデータ保護ソリューションは、両方を提供することができます。先述の 6 つの戦略的要素をあなたの IT イニシアティブに組み込み、将来のトレンドに追い付くのではなく、先行してください。そうすれば、最新のバックアップとリカバリ プラットフォームでデータが昼夜を問わず安全に保護されているという安心感を得ることができます。

2 Computer Business Review, 「5 ways to overcome the information security skills shortage (情報セキュリティ スキル不足を克服する 5 つの方法)」、2018 年 2 月

3 Riverbed, 「Global Application Performance Survey (アプリケーション パフォーマンスの世界的調査)」、2017 年 6 月

▶ 強力かつシンプルに、データがどこにあってもバックアップし、どこへでもリカバリできます。
commvault.com/backup にアクセスしてください。

© 2018 Commvault Systems, Inc. All rights reserved. Commvault, Commvault とロゴ、「C hexagon」のロゴ、Commvault Systems, Commvault OnePass, CommServe, CommCell, IntelliSnap, Commvault Edge, および Edge Drive は、Commvault Systems, Inc. の商標または登録商標です。その他すべてのサードパーティのブランド、製品、サービス名、商標、または登録サービスマークは、それぞれの所有者の所有物であり、これらの所有者の製品またはサービスを識別するために使用されます。すべての記載は通知なしに変更される場合があります。

COMMVault 



▶ **COMMVault SYSTEMS JAPAN株式会社** 〒141-6008 東京都品川区大崎2-1-1 THINKPARK TOWER 8F

WWW.COMMVault.COM | PHONE: 03-5747-9610 | JPSALES@COMMVault.COM

© 2018 COMMVault SYSTEMS, INC. ALL RIGHTS RESERVED.